

令和元年度 向日市競輪対策協議会議事録

開催日時	令和2年3月12日（木） 午後2時00分から3時00分まで
開催場所	向日市役所 本館3階 大会議室
出席委員	安田市長（会長）、五十棲副市長（副会長）、藤田向日市区長会長、岡崎寺戸町連合自治会長、西川向日台連合自治会長、小山向日区長、鐘ヶ江向日市校長会会長、上出向日市PTA連絡協議会理事、磯野府議会議員、天野市議会議長、富安市議会副議長、杉谷まちづくり特別委員会委員長、米重まちづくり特別委員会副委員長、山本京都府山城広域振興局副局長、高野京都府自転車競技事務所長、林京都府乙訓土木事務所長、佃京都府総務部副部長、古澤京都府総務部総務調整課長
欠席者	高橋向日市商工会長、栗田京都府向日町警察署長
事務局	鈴木総務部長、林総務部副部長、中埜総務課長、紺野総務課主幹、櫛山総務課行政係長、楠堂総務課主任
関係職員 （京都府）	上田京都府自転車競技事務所次長、尾崎京都府総務部総務調整課副主査、下元乙訓土木事務所企画調整担当副主査
（向日市）	福岡建設部長
傍聴者	無し
議 題	（1）競輪場開催状況等について （2）ナイター場外販売の拡大について （3）ミッドナイト競輪の開催について （4）その他

内 容

(京都府自転車競技事務所長)

新型コロナウイルスに係る対応状況について

2月26日の政府のイベント等の開催の中止、延期等の要請を受け、競輪業界としては2月27日から3月11日までの期間において、無観客でのレース開催、車券発売については、電話やインターネット販売以外の中止を決定した。

これを受け、向日町競輪場としても3月9日から11日まで開催した競輪を無観客で実施し、場外販売については中止した。

通常運営への再開時期については未定。

議題（１）競輪場開催状況等について

－ 資料の説明 －

平成30年度については、奈良の競輪場を借上げ、ミッドナイト競輪を開催した。

全体の入場者数減少については、客層の高齢化、大阪北部地震の影響によりバンクに使用不可能な期間があったこと等が原因と考えられる。

令和元年度2月末現在の売上については、3年に1度の西日本カップの開催もあり、既に平成30年度を上回っている。

議題（２）ナイター場外販売の拡大について

－ 資料の説明 －

本年度、G Iの6日間について試行的に実施した。この6日間の全国の競輪場の売上が前年度より減少したことに対し、向日町競輪場の売上はほぼ横ばいであったことから、実施による効果があったと考えられる。

来年度は、6回（25日間）に拡大していきたい。

議題（３）ミッドナイト競輪の開催について

－ 資料の説明 －

無観客で開催し、発売もインターネットで行うため、収益性が高い。

周辺への環境対策として、照明設備については、ＬＥＤを使用すること等で光を外に漏れにくくし、スタート時の号砲・打鐘音等については、音量低減措置を行うことで、周辺環境への影響を最小限に抑える。

自場で開催するメリットは、借上げ賃借料が不要となる上、他場を借上げての開催は現在年１２回とされているところ、自場では年２４回開催することができ、収支の改善が図れると見込めることである。

議題（４）その他

他の競輪場との調整も必要であるが、可能であれば年末年始１２月３１日、１月１日に本場開催又は場外発売を行いたい。

いずれの議題についても、質疑なし。

（会 長）

競輪場においては、色々な方策をとり、売上を伸ばすことはやっていただいたらよいが、本市においてメリットがあれば市民の方の理解も得やすいと考えられるので、その辺りもお考えいただければありがたいと思う。